特集展示

# 栗東歴史民俗博物館の“昔のくらし”

## 令和元年12月7日（土）～
## 令和2年3月1日（日）

## 会場：栗東歴史民俗博物館　第2展示室

旧中島家住宅での“かまどの火吹き体験”

展示解説

12月7日（土）、1月25日（土）、2月8日（土）
それぞれ　14:00～（1時間程度）

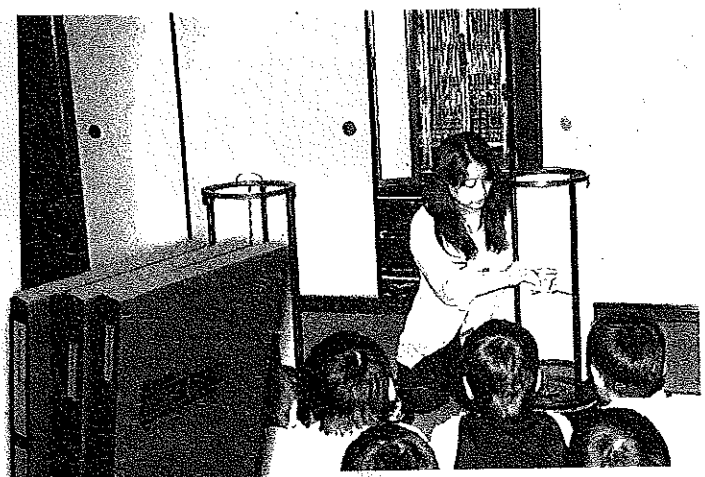
# 栗東歴史民俗博物館の“昔のくらし”

栗東歴史民俗博物館では平成５年度から、小学生が社会科で学ぶ”昔のくらし“に対応した体験学習を受け入れてきました。”昔のくらし“は主に小学校３年生（一時期は３年生から４年生で学ぶことになっていた）の学習内容で、”祖父母が子どもだったころのくらしぶり“や”電気がなかったころのくらしぶり“などを、子どもたちが自ら調べて学ぶというものです。

体験学習では、収蔵資料を活かしたプログラムを提供しています。特に移築復元した旧中島家住宅（国登録有形文化財）の公開が始まると、旧中島家住宅の特性を活かした、かまどの火吹き体験やランプの明かり体験などの体験がメニューに加わり、栗東市域はもちろん、県内でもほかに例のないプログラムが体験できるとして、市内外の小学校が学習の一環として来館するようになりました。

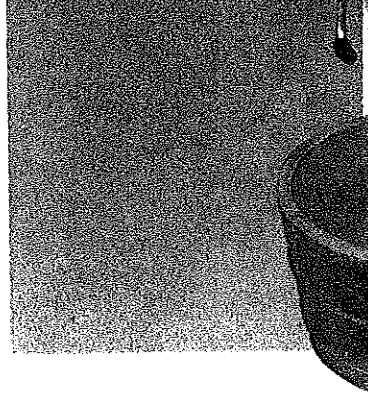
この展覧会では、四半世紀にわたって行ってきた栗東歴史民俗博物館の博物館教室“昔のくらし”について、紹介するとともに、個々のプログラムの裏側についても紹介します。

唐臼体験



旧中島家住宅での“明かりの体験”

体験プログラム開発の参考資料



教科書でも昔と今の対比の例になることが多い、洗濯盥と洗濯板（昔）と洗濯機（今）

洗濯体験